



おともがわ

学校報 NO, 20

保護者版

令和3年 9月10日

みんなで育む豊かな心・健やかな体・確かな学力

仙北出張所長等訪問

9月7日(火)、南教育事務所の〇〇副所長、同仙北出張所の〇〇〇所長と〇〇副主任、〇〇指導主事の4名が、本校を訪問されました。今回の訪問では、子どもたちの授業に臨む姿を見ていただくとともに、我々教員の更なる授業改善について、ご助言をいただきました。子どもたちについて、たくさんのお褒めの言葉をいただきましたので紹介します。

- ・素直で、物事に真面目に取り組む子どもたちである。
- ・1年生から6年生まで、とても元気な子どもたちの姿が見られた。活動の様子から、子どもたちの人間関係がよいことが感じられた。また、子どもたちと先生方の関係も良好だと感じた。
- ・学習規律(集団で学習をするためのルールやマナー)も、上の学年に行くほどしっかりしており、落ち着いて授業に取り組む姿が見られた。特に6年生は、しっかりと表現する様子や、その発表を聞いて自分の考えをしっかりと述べる姿が見られ、かなり育ってきていると感じた。

今回いただいたご助言を大切に、子どもたちの更なる成長のために、これからも職員一同頑張っていきたいと思えます。



3年生 算数



4年生 算数



5年生 算数



6年生 外国語

1,2年 カブトムシ教室

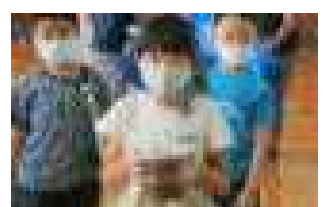
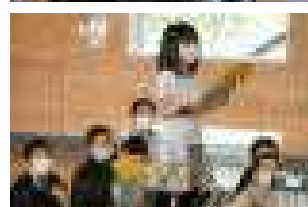
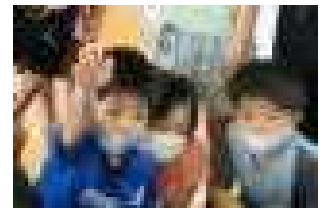
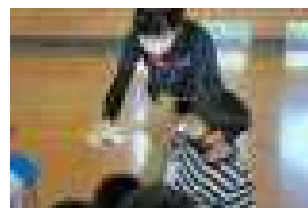
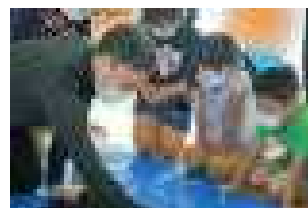
9月3日(金)、内小友公民館から〇〇館長さんと〇〇さん、花館公民館から〇〇さん、〇〇さん、〇〇さんの計5名の方々にお越しいただき、1、2年生を対象にカブトムシ教室を実施しました。

実は、7月にカブトムシのサナギをお借りして、羽化するまで学校で飼っておりましたが、そのカブトムシが卵を産み、ふ化して幼虫が生まれたということで、今回、カブトムシの成長について教えていただくことになったものです。子どもたちは、実際に土の中から卵を探して集めたり、様々な大きさの幼虫を取り出して成長のスピードを実感したりしていました。

今回子どもたちが拾った卵と幼虫の一部は、学校にプレゼントしていただき、児童玄関に展示しております。みんなで成長を見守っていきたいと思います。

次に、子どもたちの感想を紹介します。

- ・カブトムシをさわられて楽しかったし、かわいと思った。
- ・雌が卵を産んでいてびっくりした。
- ・カブトムシが木につかまっている姿を見ることができて嬉しかった。
- ・幼虫に、1齢、2齢、3齢という呼び方があることを初めて知った。



5,6年 フィールドワーク

9月2日(木)、5、6年生が横手市にある近代美術館にフィールドワークに出かけてきました。当日はさわやかな秋晴れに恵まれて、子どもたちの表情もいつも以上に生き生きとしていました。

近代美術館では、特別展「からくり展」と、コレクション展「美のしくみ」を鑑賞してきました。真剣な表情で鑑賞したり、学芸員の言葉にしっかりと受け答えする子どもたちの姿に、職員の方からは「子どもたちがとても育っている。」と褒めていただいたそうです。それを聞いて私も嬉しくなりました。

午後からは「かまくら土鈴」の手作り体験に挑戦しました。一人一人が自分らしい表現で作り上げ、帰校後に作品を見せてくれた児童もおりました。

フィールドワークでは、教室では学べないことを学ぶことができます。また、学級のみならず一緒に活動することで、心に残る一生の思い出ができると思います。今後も感染予防に十分に留意しながら、できるだけ実施していきたいと考えています。



ぼけっさんによる読み聞かせ(2年生)

9月8日(水)、ぼけっさんの〇〇〇〇さんにお出でいただき、2年生に読み聞かせをしていただきました。今回読んでいただいたのは、「りゅうがあります」という絵本です。

主人公の「ぼく」には、鼻をほじるとか爪をかむとか、いろいろなクセがあります。お母さんはそれを「行儀が悪い」と、いつも注意します。「ぼく」は、何かきちんとした理由があれば、鼻をほじったり爪をかんたりしても注意されなくなると考え、子どもながらに想像力を働かせて、いろいろな理由を考えていく…というお話です。

その理由のユニークさに、中には、クスッと笑みをこぼしながら聞いている子どももおりました。

感想を聞くと「面白かった」と多くの子どもたちが話してくれました。素晴らしい読み聞かせ、ありがとうございました。



第3回あさがお運動

9月8日(水)、今年度3回目の「あさがお運動」が行われました。本校出身の西中生が来校し、内小っ子委員会のメンバーと一緒に、元気にあいさつ運動をしてくれました。(「あさがお」には、「あいてよりきに かっこう以外でも おきな声で」の意味が込められています。)

子どもたちみんなが、自分から進んで元気にあいさつができるようになること、そして、学校の中だけでなく、地域の中でも元気にあいさつができるようになることは、本校の教育の重点の一つです。この運動を通して、子どもたちのあいさつがより一層よくなるよう、引き続き働きかけていきます。

